

CINGAオンライン事業報告会

文化庁 令和3年度「生活者としての外国人」のための日本語教育事業地域日本語教育実践プログラム(C)

地域日本語教室での対話的な日本語活動につなげるための 基礎日本語教育実践研究事業報告会

2021年、CINGAは文化庁から委託を受け、ひたちなか市国際交流協会と協働し、基礎日本語教育の実践研究コースを実施しました。目的は、日本語教師が担うべき公的な基礎日本語教育の方法と内容の探究です。
第1部では、実践報告を行います。第2部では、実践報告をもとに、地域における多文化共生に資する「基礎日本語教育」のあり方について具体的な意見交換を行います。

2022年 2月18日（金） 13:30～16:30

第1部はどなたでもご参加頂けます。第2部は1グループで意見交換を行うため、対象を限らせて頂きます。

【第1部 報告会】 13:30～15:30 定員：100名

地域日本語教室での対話的な日本語活動につなげるための基礎日本語教育実践研究事業報告

本事業では、CINGA日本語学習教材『わたしをつたえるにほんご（わたにほ）』を使用し、2地域*において、日本語教師による基礎日本語コースを実施しました。本報告会では、実際のクラスの様子動画を含め、コース概要、実践結果についてご報告します。
また、基調講演では、自己表現活動中心の基礎日本語教育提唱者、西口光一氏にお話し頂きます。

* CINGAコース : 関東地方在住者対象、オンラインコース、全46回実施
ひたちなかコース : ひたちなか市在住者対象、オンライン・対面併用コース、全41回実施

1. 基調講演 「共生社会のための「つながる日本語」を育む基礎的な日本語教育」
西口光一氏 大阪大学 国際教育交流センター教授
2. 事業報告
3. 質疑応答

* 第1部報告会には、学習者が映った教室活動の様子が含まれるため、後日の動画配信はありません。

【第2部 意見交換会】 15:40～16:30 定員：30名

テーマ：多文化共生を目指した基礎日本語教育のあり方とは？

対象：地域日本語教育の体制づくり事業を実施中、または実施検討中の地域の行政担当者、国際交流協会、総括コーディネーター、地域日本語教育コーディネーター、地域日本語教育の推進に関わる有識者

内容：第1部（CINGAの実践研究報告）をふまえた意見交換



左のQRコードのリンクからお申し込みください。

申し込み締め切り： 2月11日（金）

問合せ・連絡先

mail cinganihongo21@gmail.com TEL 03-6261-6225 [http:// www.cinga.or.jp](http://www.cinga.or.jp)

主催

特定非営利活動法人 国際活動市民中心（CINGA） 担当：地域日本語研究チーム

